



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

会社名 日本ロジテム株式会社
 代表者 代表取締役社長 中西弘毅
 (JASDAQ コード番号 : 9060)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 宮村隆二
 T E L 03-3433-6711

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異
 および通期連結業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表しました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績との差異および平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算において、厚生年金基金解散損失引当金繰入額を特別損失に計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,000	△130	△160	△170	△12.42
今回発表実績 (B)	20,848	133	117	△35	△2.57
増減額 (B) - (A)	848	263	277	134	
増減率 (%)	4.2	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	19,309	△135	△58	△98	△7.17

2. 差異の理由

営業収益につきましては、既存得意先の取引範囲が拡大したことや新規得意先の獲得により取扱量が増加したことに加え、当社グループが進出するベトナムやタイなどの現地通貨に対し為替が想定以上に円安で推移したことなどから、前回発表数値を上回る結果となりました。利益面につきましては、国内外で燃料価格が想定を下回り低位で推移したことや、一部得意先の料金改定があったことなどにより、営業総利益が当初の計画以上に増加したことから、前回発表数値を上回る結果となりました。

3. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,000	430	380	130	9.50
今回修正予想 (B)	42,000	480	430	150	10.96
増減額 (B) - (A)	1,000	50	50	20	
増減率 (%)	2.4	11.6	13.2	15.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	39,725	25	71	△199	△14.59

4. 修正の理由

営業収益につきましては、第 2 四半期連結累計期間において取引範囲の拡大や新規得意先の獲得が計画を上回ったことに加え、引き続きベトナムやタイなどの現地通貨に対し為替が円安基調にあることなどから、前回発表数値を修正いたしました。利益面につきましては、拠点の新設や統廃合に伴うコストの増加や一時的な倉庫稼働率の低下など不確定要素があるものの、第 2 四半期までの実績を踏まえ、前回発表数値を修正いたしました。

5. 特別損失（厚生年金基金解散損失引当金繰入額）の計上について

連結子会社が加入する兵庫県トラック運輸厚生年金基金は、平成 26 年 7 月 18 日開催の代議員会において解散手続きが承認決議され、平成 27 年 12 月に解散認可申請を予定しております。同基金の解散に伴う代行部分積立不足額の確定は、基金の精算業務終了時点となり、現時点では確定に至っておりませんが、この度、解散に伴う損失見込み額の算定が合理的に可能となったことから、平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算において、厚生年金基金解散損失引当金繰入額 75 百万円を特別損失に計上することといたしました。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上